

## 【スウェーデン】 世界で2例目！政府、最終処分場計画を承認



出典：SKB

2022年1月27日、スウェーデン政府は、処分実施主体であるSKB社に対し、フォルスマルクにある使用済燃料の地層処分場の建設計画を承認する決定を行いました。

これは、フィンランドに続き世界で2例目となります。同社は、「現世代で発生した高レベル放射性廃棄物を処分することを可能にする歴史的決定」とコメントしています。

今後、土地・環境裁判所が施設の条件を、規制機関の放射線安全機関（SSM）が許可条件を決定し、全ての条件を満たした後、建設を開始することとなります。



### これまでの 経緯

- 1984年 処分実施主体としてスウェーデン核燃料・廃棄物管理会社（SKB社）設立
- 1992年 SKB社が研究開発計画においてサイト選定プロセスを提示
- 1995年 政府がSKB社のサイト選定プロセスを承認
- 2009年6月 SKB社がエストハンマル自治体のフォルスマルクを処分地として選定
- 2011年3月 SKB社が処分場の立地・建設許可申請書を提出
- 2020年10月 エストハンマル自治体議会が使用済燃料処分場の受入れを議決

## 【フィンランド】世界初！ 建設中の最終処分場「オンカロ」の操業許可を申請



撮影・出典：Tapani Karjanlahti, Posiva

2021年12月、処分実施主体であるポジヴァ社は、オルキルオトにある現在建設中の使用済燃料の最終処分場「オンカロ」について、世界で初めて操業するための許可申請書を政府に提出しました。

同社は、「地球温暖化防止に貢献する原子力部門にとって重要な節目になった」とコメントしています。

今後、雇用経済省が法令に規定されている手続きに従い、原子力安全に係る規制機関や国の行政機関並びに関係自治体に意見書の提出を求めるほか、一般市民や地域社会にも意見を求める予定です。

実際の処分は、政府から操業許可発給を受けた後の2020年代半ば以降と見込まれています。

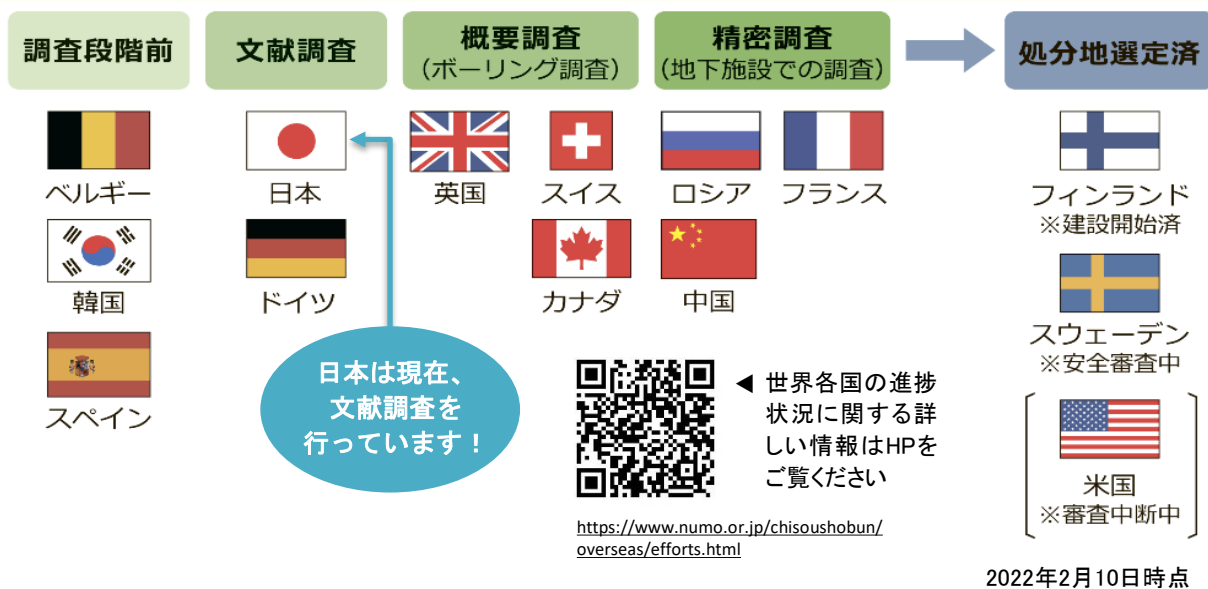


### これまでの 経緯

- 1995年 処分実施主体としてポジヴァ社を設立。
- 2001年5月 国会がエウラヨキ自治体のオルキルオトを最終処分地とすることを承認
- 2004年6月 ポジヴァ社が地下特性調査施設（ONKALO）を建設し、調査を開始
- 2012年12月 ポジヴァ社が処分場建設許可申請書を提出
- 2015年11月 政府が処分場建設を許可
- 2016年12月 ポジヴァ社が処分場建設を開始
- 2021年5月 地上施設や立坑の建設作業に加えて、廃棄物を処分するための坑道を掘削開始

# どうなっている?? 世界各国の進捗状況

高レベル放射性廃棄物の最終処分は、日本だけでなく原子力を利用してきた全ての国に共通する課題です。地層処分は最も実現性の高い処分方法として国際的に認知されており、諸外国も地層処分の実現に向けて最大限の取組みを進めています。



## 積極的な対話活動に取り組んでいます！

### 対話型全国説明会とは？

経済産業省資源エネルギー庁との共催で、地層処分事業に関する参加者の疑問などに丁寧にお答えし、事業への理解促進を図る目的で開催している説明会です。



地層処分に関する映像の上映および説明を行った後、少人数に分かれて、テーブルごとにグループ質疑を行います。地層処分事業の内容などについて率直に意見を交わしたり、ご質問をいただいています。

説明資料は  
こちらから



[https://www.numo.or.jp/setsumeikai/pdf/setsumei\\_taiwa\\_20220120.pdf](https://www.numo.or.jp/setsumeikai/pdf/setsumei_taiwa_20220120.pdf)

映像は  
こちらから



<https://www.youtube.com/watch?v=AfgnCoKMtfw>